

2023年3月(第16号)

発行

社会福祉法人 上尾あゆみ会

理事長 武藤 政春

上尾市藤波1丁目209番地の2

TEL 048-787-4747

ホームページ

<http://parklwakwak.com/~ageoayumikai/>



あゆみ

社会福祉法人 上尾あゆみ会 広報誌

がんばります
めしが満子



はたちでこれからも
がんばります
金子宥大

おめでとう ～二十歳の祝い～

20になりました。
これから大石事業
所でお仕事がんば
ります。
佐藤純也



物事の良し悪しを引き続き伝
えつつ、大人への自覚を促して
いきたいと思えます。
渡辺 健太 母

1の郷日中支援

グループホームは月曜から金曜のいずれかが祝日だった場合、日中支援を行っています。

余暇活動

みんなでゲームをしたり、DVDを見たり。もちろん1人でゆっくりするのも自由です。

今日は黒ひげ危機一髪!!



黒ひげさん
とばないで!!



まだ大丈夫かな?

季節感のある お楽しみ



ケーキも
出ます



ツリーを
かざったり...

楽しいティータイム



冬のアイスもおいしいな~

お昼ごはん



おかずがいっぱい!!



食事

いつもと違うちよつと豪華なお弁当やデリバリーの食事を楽しむことも。

創立記念行事

令和4年11月30日創立記念行事を行いました。その中で永年勤続者の表彰、今年度功績のあった方への年間表彰、各事業所の研究発表が行われました。

年間表彰

栄養士・大石・ふじ・上平 調理員のみなさん



おいしい食事を
ありがとうございます

研究発表

上平事業所

「作業支援が持つ意味」

生活介護と就労系、それぞれの作業活動の意義について考察しました。売り上げを求めめるかどうか異なる部分はありますが、共通して言える事は「達成感や成功体験を得ること」に大きな意味があるのだと結論付けました。生活の幅を広げる基礎として作業活動があることを再認識できました。

大石事業所

「ストレングス視点に基づいて支援をした際の利用者の変化について」

支援をしていく中で『否定的な声掛けはしない』ことを前提に実践してきました。利用者は本人の

行動を否定されるのでは無く、共感され、強みを見てもらう事で、今まで不穏になっていた場面でも、落ち着いて会話ができる等の変化がみられました。研究を通して利用者の良い面・強みに着目し支援にあたっていく事の大切さを確認することが出来ました。

ふじ学園

「関係性の作り方」

ふじ学園では、初歩的なことですが非常に重要な「関係性の構築」に焦点を当てました。利用者様とのコミュニケーションの中で、データを集積、考察し、結果を反映して再度コミュニケーションを図ることの積み重ねを行いました。このことから、関係性の構築には、利用者様の発しているニーズを汲み取れるよう意識して関わることが大切だという結論になりました。

法人本部

「新規事業展開による

法人活性化について」

一の郷

「日中サービス支援型つてなあと」

みのり

「グループホーム入居希望のあった利用者さんと保護者のニーズにこたえるために」

事業推進

放課後等デイサービスにおけるサービス内容の提案